



令和6年



月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

■塗りつぶしの日には休館です。

『おかあさん観察図鑑』クオンジョンミン/NHK出版/726.6 円



赤ちゃんと一緒に生まれた、あたらしい人類「おかあさん」。食、睡眠、活動…赤ちゃんが観察したおかあさんの生態とは？母親の日常を図鑑ふうに描き、全ての人に自分の母が経験してきた濃密な時間を伝える。現代語訳を手掛けた著者の視点や感じたことなどがまとめられており、物語の世界をさらに理解できる一冊。私が泣くと猛ダッシュでとんでくるあの生物はなに？赤ちゃんの目から見た新米ママの姿。

## 『世界一かんたんな図書館の使い方』

つのだ由美子/秀和システム/015 ヲ

知りたい情報が確実に引き出せる、読みたかった本に秒で出会える、自由研究やレポート提出が楽になる、調べものが得意になる…。「借りるだけじゃない」図書館を使いこなせる超活用法を司書が教える。

## 『ラールス百科事典の芸術』

ラールス[編]/グラフィック社/035 ヲ

辞書・百科事典で有名なフランスの老舗出版社「ラールス」。19世紀に刊行された「ラールス百科事典」を彩る美しい挿絵画 70 点を厳選し、現代の解説を添えて紹介する。動植物、昆虫、藻類、菌類など専門家の監修つき。

## 『烏帽子と黒髪』

野村育世/同成社/210.4 ヲ

中世の男性は人前で決して烏帽子を脱いではいけない？美人の条件は長い黒髪？史料や物語から中世の人々のジェンダーをめぐる意識を読み解き、男とは何か、女とは何かを問う。

## 『漫画家が見た百年前の西洋』

和田博文/筑摩書房/290.9 ヲ

漫画記者として活躍した近藤浩一路は、1920年代の西洋を初めて訪れる。異国を訪れる旅が「洋行」と呼ばれた時代の異文化体験はどのようなものだったのか。ウィットに富んだ漫画も多数掲載。

## 『静かに退職する若者たち』

金間大介/PHP 研究所/336.4 ヲ

何も言わずに辞めていく若手社員。今の職場の若者は何を考えているのか？1 on 1 を核とした世代間コミュニケーションの問題点を切り口に、職場の若者を多面的に分析した、職場の「わかり合えない」を乗り越える処方箋。

## 『三井大坂両替店』

萬代悠/中央公論新社/338.2 ヲ

元禄 4 年(1691)に三井高利が開設した三井大坂両替店は、いかにして栄え、日本初の民間銀行創業へと繋がったのか。三井の膨大な史料から信用調査の技術と法制度を利用した工夫を読み解き、新たな視点で金融史を捉え直す。

## 『中学数学で磨く数学センス』

花木良/講談社/410 ハ

「数学する力」が誰でも身につく！九九表から平面図形、多面体まで、中学数学の知識をフル活用しながら数学を楽しみ、「数学センス」を磨くための勉強法を紹介する。理系に強い子どもに育てたい親世代へのヒントも満載。

## 『働かないアリ過労死するアリ』

村上貴弘/扶桑社/486.7 ヲ

ほぼ 24 時間フルで働くアリ、日の出の直前しか活動しないアリ、極寒、酷暑、海中も OK のアリ…。面白すぎるアリの世界を紹介する。「アリ語で寝言を言いました」続編。アリのおしゃべりが聞ける QR コード付き。

## 『ハクビシンの不思議』

増田隆一/東京大学出版会/489.5 ヲ

なんとなく近くにいるのに、何者なのかはよくわからないハクビシン。彼らはどんな動物で、いつから日本に分布しているのか？さまざまな動物たちの由来を解き明かしてきた動物学者が、ミステリアスな生きものの謎を追う。

## 『かわいいアジアの洋館』

タチアナ・キルディシェワ/エクスナレッジ/523.2 キ

まるでお菓子のようにカラフル！1 階が店舗、2 階が住居となっている東南アジアの伝統的家屋「ショップハウス」は、一軒一軒が個性的。そんな魅力的なショップハウスが軒を連ねるシンガポールの通りを写真で紹介します。

## 『エスカレーターのかがく』

元田良孝/成山堂書店/528.5 ヲ

歴史・構造から、安全性や輸送特性まで、エスカレーター全般についてわかりやすく解説。エスカレーターの片側空け・歩行問題についても、工学的な視点からデータを示し論じる。動画が見られる QR コード付き。

## 『モノのお手入れ・お直し・作りかえ』

暮らしの図鑑編集部[編]/翔泳社/590 ヲ

さまざまな生活道具や室内空間をお手入れし、壊れたところを修繕し、自分らしく整えていくためのアイデアやヒントをまとめる。金継ぎ、ダーニングなど、新しい価値が生まれる作りかえも多数紹介する。

## 『頑張らない』

80 歳からのおひとりさまごはん』

村上祥子/幻冬舎/596 ヲ

マグカップクッキングで肉も魚も一人前料理、コンビニ総菜はレンチン野菜をプラス、タンパク質はレンチン温泉卵…。電子レンジ料理を中心に、80 歳からの一人暮らしの「食べる」アイデアを紹介する。

## 『注文の多すぎる患者たち』

ロマン・ピッツィ/ハーバーコリンズ・ジャパン/649 ヒ

タランチュラを MRI につけ、クマに脳外科手術を行い、サメに麻酔し、ゴリラにペースメーカーを植え込む…。野生動物外科の世界的権威が、世界中の野生の地や保護区めぐって動物たちを治療し、野生に帰すまでの様子を綴る。

## 『巨樹・巨木図鑑』

小山洋二/日本文芸社/653.2 コ

長年全国各地を巡った著者が、とくに「心に響いた」「感動した」巨樹・巨木を美しい写真とともに都道府県別に紹介する。所在地・樹木データ等も掲載。Google Map にリンクした QR コード付き。

## 『店員さんの英会話ハンドブック』

原島一男/ベレ出版/673.3 ハ

外国人のお客さんを応対するときの基本会話と業種別の接客フレーズを紹介。幅広い業種・職種で使えるやさしい表現が満載。支払方法の多様化など時代の変化で必要になった英会話表現を加えた増補改訂版。音声ダウンロード付き。

## 『やっときみをみつけたよ』

グオジン[作・絵]/パイインターナショナル/726.5 ヲ

公園で出会った子犬と女性。だんだんと距離が近づいていくが、嵐の夜にすれちがいが起きて…。あきらめないこと、優しくあること、そして誰かを信じることを、言葉を使わずに描いた絵本。

## 『日本語の秘密』

川原繁人/講談社/804 カ

歌人、ラッパー、声優、言語学者。彼らはことばとどう向き合っているのか。それを言語学の視点から解釈するとどうなるのか。日本語の魅力とことばの楽しみ方を、4 人の「ことば」のプロたちと語り合った対談集。

## 『季語を食べる』

尾池和夫/淡交社/911.3 オ

松茸の天使のリング×万葉集の茸、お焦げの原理×暮らしにおける炭…。「食べる」ことに関連した 100 の季語を地球科学者の視点から綴った、俳句×食文化×科学の融合をたのしむ異色のエッセイ。

## 『母の最終講義』

最相葉月/ミシマ社/914.6 サ

あの介護の日々は母から私への教育だった。両親の介護と別れまでの日々を軸に、取材で出会った人々や旅のこと、失敗談などをまとめたエッセイ集。

## 『秘密の花園の向こうへ』

アン・スウェイト/国書刊行会/930.2 ス

「小公子」「小公女」「秘密の花園」の作者であるバーネットの伝記。貧困のどん底から名声と称賛と富を手にするまで、運命の大きな転換を経験したバーネットの生涯を、ドラマティックに共感をこめて描き出す。

## 『化学の授業をはじめます。』

ボニー・ガルマス/文藝春秋/933 カ

1960 年代アメリカ。才能ある化学者のエリザベスは未婚のシングルマザーになったうえ失職してしまう。ひよんなことから得た仕事は料理番組の出演者。科学的に料理を説くエリザベスは意外にも視聴者の心をつかみ…。

## 『そして誰かがいなくなる』

下村敦史/中央公論新社/F シ

大雪の日、大人気作家の御津島朱李が細部までこだわった新邸のお披露目会が行われた。招かれたのは作家、編集者、文芸評論家、そして名探偵。最初は和やかな雰囲気だったが、次第に雲行きが怪しく…。『BOC』連載を書籍化。

## 『君を守ろうとする猫の話』

夏川草介/小学館/F ナ

幸崎ナナミは中学 2 年生。喘息の持病があるため、学校が終わると一人で図書館に足を運ぶ生活を送っている。その図書館で最近本がなくなっているらしい。館内の探索を始めたナナミは、翡翠色の目をした猫と出会い…。

図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。

また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。

図書館ホームページ

